

# SDA賞はWEB応募に変わります。

第49回日本サインデザイン賞作品募集

日本サインデザイン賞(通称SDA賞)は、優れたサインデザイン作品を広く社会にアピールすることにより、サインデザインの普及および啓発をはかることを目的として、1966年以来続けられてきたわが国で唯一のサインデザインに関する顕彰事業です。

今日のサインは、都市空間や企業活動と生活者をつなぐインターフェイスとして、即ち環境を活性化しコミュニケーションを成立させるためになくてはならない情報として位置づけられ、その作例は多様な広がりを見せています。

年に一度開催される日本サインデザイン賞では、そうした概念と手法の広がりに対応しながら、質の高いサインデザイン作品を募集、審査し、優れた作品に顕彰をおこなっています。

主催：公益社団法人日本サインデザイン協会  
〒113-0033  
東京都文京区本郷3-25-11池田ビル2F  
Tel:03-3818-8537 Fax:03-3818-1291  
e-mail sda@sign.or.jp

募集対象作品

2014年(平成26年)5月1日から  
2015年(平成27年)4月30日までの  
1年間に完成したサイン。

## 年間スケジュール

応募者登録	~5月8日(金)
作品応募	~5月8日(金)
応募料決済	~5月8日(金)
一次審査	5月16日(土)~28日(木)
一次審査入選通知	6月9日(火)
二次審査用パネル制作	6月30日(火):SDA事務局必着
二次審査	7月10日(金)予定
受賞作品発表	7月下旬予定
贈賞式	11月下旬開催予定
年鑑掲載・パネル巡回展	12月~

## 応募方法

日本サインデザイン賞に応募される方には、SDAの用意する作品募集用WEBサイト(<http://www.sda-award.org>)で応募者登録を行っていただきます。登録が完了すると、応募者ページが作成されます。応募対象作品を撮影した写真画像のデジタルデータ(以下、画像データと表記する)とデザイン意図(コンセプト:テキストデータ)を含む応募資料一式、応募料の決済などは、全て応募者ページより行います。

## 応募の手順

WEBサイト(<http://www.sda-award.org>)で応募者登録が完了すると、応募者ページが作成されます。作品応募、応募料の決済などは、全て応募者ページより行います。ログイン後に表示されるマイページにて注意事項を確認し、応募の手続を開始してください。

### Step.1

作品を応募する場合、応募者ページの[新規作品応募]ボタンを押下してください。応募票が表示されますので、必要事項を記入して作品を登録します。各項目は、応募料の支払手続前であれば、修正が可能です。※支払手続済みの作品は修正・編集ができませんので、予めご注意ください。

### Step.2

応募票の記入・登録が完了すると、応募作品詳細ページの画像・映像登録の項目が表示されます。[画像・映像の登録・編集]ボタンを押下して、画像・映像登録ページを表示し、データを登録してください。※映像のみの登録はできません。

### Step.3

画像・映像データの登録が完了すると、応募作品詳細ページの作品制作関係者の登録の項目が表示されます。[作品制作関係者の登録]ボタンを押下して、作品制作関係者票のページを表示し、関係者を登録してください。同様の手順で、全ての関係者を登録してください。これで応募手続きは完了です。応募完了後は、マイページへ戻り、支払手続に進んでください。

## 応募料の支払

①応募料は、クレジットカード(Paypalを利用)または、銀行振込でお支払いください。同一の応募者による応募であれば、複数の作品の応募料をまとめて支払うことができます。

②応募料をつぎの通り定めます。応募料は、作品1点につき¥3,000とします。応募料にはデザイン意図(コンセプト)と1点までの画像データの審査料が含まれます。

③画像データは何点でも登録できます。追加画像データは1点につき¥1,000の審査料が加算されます。

④映像データを登録する場合、¥6,000の追加審査料が加算されます。

## 二次審査資料(パネル)の制作

①一次審査にて入選した作品の応募者は、二次審査資料として規定に沿ったパネルを制作し、指定期日までにSDA事務局宛に送付してください。

②二次審査パネルには登録された画像以外は使用出来ませんのでご注意ください。

③該当する応募者には、一次審査終了後2015年6月9日(火)までに、応募者の登録しているメールアドレス宛にe-mailにて連絡致します。落選された応募者にはご連絡致しません。ご了承ください。

④二次審査資料の提出期限は、2015年6月30日(火)SDA事務局必着となります。

⑤二次審査資料の制作および、送付にかかる費用は応募者の負担とします。

## 審査および贈賞

一次審査5月16日(土)~5月28日(木)  
二次審査7月10日(金)

### 評価基準

①造形性:作品の美しさ、表現力などの造形力について評価する。

②情報性:ユーザーとの関係、意味や効果などの情報計画力を評価する。

③先進性:作品の新しさ、独創性などの先進性について評価する。

④社会性:環境との調和、指導性、社会的意義などについて評価する。

### 賞の内容

★日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞:1点  
クリスタルトロフィー・賞状

★日本サインデザイン最優秀賞:各類(小分類含む)  
原則 1点(賞状・キューブトロフィー)

★日本サインデザイン優秀賞:各類(小分類含む)  
原則 1点(賞状・キューブトロフィー)

★日本サインデザイン奨励賞:各類(小分類含む)  
原則 1点(賞状)

★日本サインデザイン招待審査員賞:  
2点(賞状・キューブトロフィー)

★日本サインデザイン賞入選:各類適宜選定(賞状)

★日本サインデザイン学生賞:適宜選定(賞状)

★日本サインデザイン特別賞・公益財団法人  
日本デザイン振興会会長賞:2点以内(賞状)

\*贈賞式は2015年11月下旬(予定)に行います。

## 募集部門

### A類：公共サイン部門

駅、空港などの公共交通機関や公園、庁舎、学校、博物館、図書館、病院、発電所などの公共・公益施設に公共の目的で設置されたサインを対象とするもの。

#### A-1類 単体サイン・小型サイン

公共の目的のため計画され単体で機能を発揮するサイン。

#### A-2類 システムサイン

名称サイン、案内サイン、誘導サイン、規制サイン、運用サインなどの複数の機能がシステムとして計画されたサイン。地域や公共事業のヴィジュアルアイデンティティ(VI)サインシステム。

### B類：商業サイン部門

複合商業施設、ショッピングセンター、百貨店、店舗、金融機関などに商業目的で設置されたサインや、オフィス、企業施設、工場施設のサインを対象とするもの。

#### B-1類 単体サイン・小型サイン

看板、店舗サイン、のれん、企業サインなど商行為目的のため、おもにエントランス部分に計画され単体で機能を発揮するサイン。

#### B-2類 システムサイン

名称サイン、案内サイン、誘導サイン、規制サイン、運用サインなどの複数の機能がシステムとして計画されたサイン。広域・多店舗展開のヴィジュアルアイデンティティ(VI)サインシステム。

### C類：演出サイン部門

広告サイン、メディアサインなどでネオン・LEDエフェクト、照明効果を発揮するサインや、テーマパーク、エキシビションなど造形表現が豊かで演出性・エンターテイメント性の高いサインを対象とするもの。

#### C-1類 単体サイン

大型ネオンサイン、大型映像サイン、広告塔、ビルボード、ラッピング広告などサイン性の強いものや、モニュメントサイン、ゲートサイン、モール、照明など造形性の高いサイン。

#### C-2類 システムサイン

テーマパーク、遊園地、スタジアム、エキシビション会場、展示場などの施設で複数のサイン機能がシステムとして計画されたもの。

### D類：空間・環境表現サイン部門

公共空間、商業空間、建築空間や交通拠点など、空間や環境、景観そのものがサインとして表現され、明快なメッセージの発信や良好なコミュニケーション機能を発揮しているもの。

### E類：インターフェイス、開発サイン部門

機器の説明表現やインフォグラフィクス、ウェブデザイン、アプリ開発、デジタルサイネージなど、技術で映像や情報を伝達するサイン。研究、実験、企画技術開発や新しい技術、新材料、新表現など、先進性、将来性をアピールする試み。

## 注意事項

ご応募にあたっては以下の注意事項をあらかじめご確認願います。

①応募者登録情報、応募票、作品制作関係者票に記載された会社名や個人名などは正式なものと判断し、印刷物や出版物、顕彰時の原稿として使用するため、正確に記入すること。

②応募者は二重応募(同一の作品を複数の応募者が応募すること)のないよう、事前に各関係者間で調整を図ること。ただし、同一の作品であっても、異なる視点から異なる部門へ、同一のあるいは異なる応募者が応募することは認められる。

③応募作品の著作権、写真使用权、出版権、工業所有権については応募者がその責に任じること。なお、これらの許諾を得られない場合、入賞、入選作品であっても作品集や年鑑に掲載することができないので了承のこと。また、写真使用料については、応募者と写真家との間で解決した上で、応募すること。

④出版物においては画質の補正、画像のトリミング等を行う場合がある事を了承すること。

⑤写真などの応募資料の著作権はその著作者に留保されるが、応募にあたり、資料を「年鑑日本の空間デザイン2016」(従来の紙媒体および、電子版)、日本サインデザイン賞作品集その他の刊行物、展示会に発表、画像データをDVD化する権利を主催団体、空間デザイン機構年鑑刊行委員会(株)六耀社に付与していただく。また「作品制作関係者」として、カメラマンなど著作者名の表示がない場合は、著作者の氏名表示を不要とするものとみなす。ついては「作品制作関係者」の著作権などの処遇ならびに管理は、応募者の責任において行うこと。

⑥応募する画像データ、映像データは、常識的な範囲での補正(露光や、色温度の微調整、トリミング等)と、応募規定ファイルサイズに合わせるための画素数や圧縮率の変更を除き、一切の加工を行ってはならない。

⑦デジタル加工などを施した、実際の作品と異なる画像・映像による「虚偽」の応募が判明した場合は、審査終了後であっても失格処分とし、事実を応募者名とともに公表する。

⑧盗作などの事実が確認された場合、失格処分とする。

⑨デザイン意図、画像データ・映像データ、二次審査資料のパネルには、応募作品に含まれる場合を除き、応募者名・関係者名は、これらを想起させるロゴマーク等を含み、一切表示してはならない。違反した作品は、失格処分とする場合がある。

⑩応募料・追加審査料は、いかなる場合も返却しない。

⑪回線の混雑やサーバーの過負荷などにより応募締切時刻を超過した場合、応募受理されない場合があるが、この場合の異議は一切受け付けない。

⑫審査結果速報(7月初旬発表)に記載される応募者名は「応募票」の応募責任者(原則1名)となります。

⑬期日までに二次審査資料が提出されなかった作品は、二次審査会に参加できない。(入選は取り消されない。)

## 二次審査員(予定)

### 委嘱審査員(順不同、敬称略)

経済産業省商務情報政策局クリエイティブ産業課デザイン政策室長  
アストリッド・クライン:クライン ダイサム アーキテクト  
丸尾弘志:日経デザイン編集長

### 会員審査員(50音順、敬称略)

審査委員長:定村俊満 日本サインデザイン協会会長  
審査員:島津勝弘/廣村正彰/宮崎桂/  
宮沢功/山田晃三/渡辺太郎

## 募集締切日

2015年(平成27年)  
5月8日(金)24:00  
までに応募サイトで  
作品応募、支払い。

※支払いが完了していない作品については審査の対象となりませんのでご注意ください。

<http://www.sda-award.org>

## 後援(予定)

経済産業省  
公益財団法人日本デザイン振興会  
日本商工会議所  
日本経済新聞社  
一般社団法人日本屋外広告業団体連合会  
一般社団法人日本空間デザイン協会  
一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会  
一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会  
公益社団法人全日本ネオン協会  
公益社団法人商業施設技術団体連合会  
一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会  
公益社団法人全日本広告連盟  
公益社団法人日本アドバイザーズ協会  
公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会  
特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会  
(順不同)

## 年鑑掲載

年鑑日本の  
空間デザイン2016

ディスプレイ・サイン・商環境

- 入選以上の作品は「年鑑日本の空間デザイン2016—ディスプレイ・サイン・商環境」(国内・海外版)に収録されます。
- 年鑑掲載に必要な写真原稿等は、応募者の責任において提出をお願いいたします。
- 年鑑の編集は、公益社団法人日本サインデザイン協会(SDA)、一般社団法人日本空間デザイン協会(DSA)、一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会(NDF)、一般社団法人日本商環境デザイン協会(JCD)、株式会社六耀社、並びに空間デザイン機構年鑑刊行委員会があたり、発行は株式会社六耀社が行います。
- 発行予定日:2015年12月